

CONTENTS

はじめに.....	1
カワヅザクラの原木	2
カワヅザクラの由来	3
カワヅザクラの特徴	4
カワヅザクラの交流と振興 ...	5
カワヅザクラの育て方	6
河津桜まつり.....	7
カワヅザクラのみどころ	8

はじめに...

早春を告げ、心を晴れやかにする濃いピンク色の花、河津桜は、ここ河津町で生まれました。新しい年が明けてしばらくすると、町のあちらこちらで

河津桜のつぼみがほころび始め、鮮やかに町中が彩られていきます。一人の先人が、この桜に魅せられて夢を託し、そしてその夢を受け継いだ多くの方の努力によって、

河津町内約8000本の河津桜が

見事に花開き、河津桜まつりは

伊豆の一大イベントに成長しました。

わたしたちはこの桜を誇りにし、

後世に伝えていくために、心豊かな

河津町を育んでいきたいと思えます。

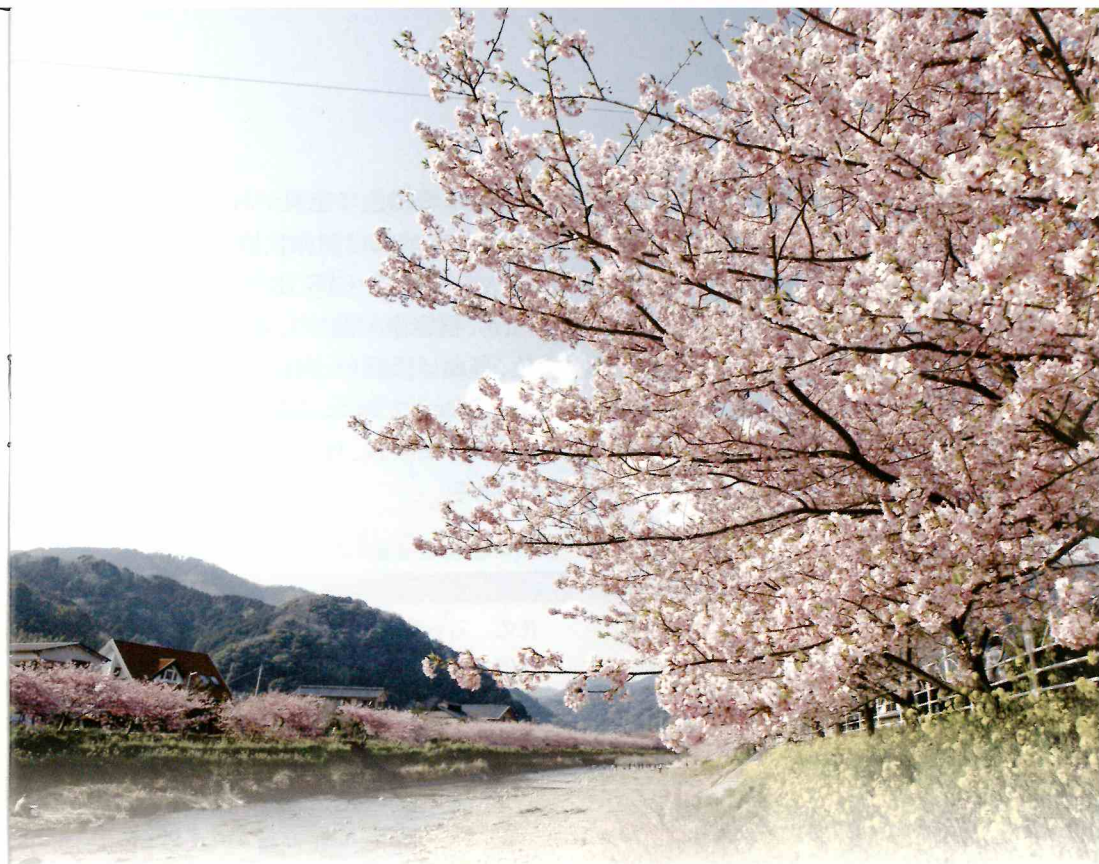
静岡県賀茂郡河津町長 **相馬 宏行**



カワヅザクラの 原木

学名: *Prunus lannesiana* Wils. cv. *Kawazu-zakura*

カワヅザクラの原木は、伊豆急河津駅から天城山に向かって約1.2kmの町道大堰笹原線に面した、河津町田中、飯田氏宅の庭にあります。2014年(平成26年)現在の樹齢約60年、樹高約10m、幹周約115cmです。



カワヅザクラの 由来

河津桜の原木は、河津町田中の飯田勝美氏(故人)が1955年(昭和30年)頃、偶然発見したサクラの苗を宅地内に植えたものです。1966年(昭和41年)から開花がみられ、1月下旬頃から淡紅色の花が約1カ月にわたって咲き続けて近隣の注目を集めました。伊東市に住む勝又光也氏は、1968年(昭和43年)頃からこのサクラを増殖し、このサクラの普及に大きく貢献しています。

一方、県有用植物園(現伊豆農業研究センター)は、賀茂農業改良普及所や下田林業事務所(現賀茂農林事務所)、河津町等と協力して、この特徴ある早咲きサクラについて調査をし、新品種のサクラと認められました。このサクラは河津町に原木があることから、1974年(昭和49年)カワヅザクラ(河津桜)と命名され、1975年(昭和50年)には河津町の木に指定されました。カワヅザクラは早咲きのオオシマザクラ系とカンヒザクラ系の自然交雑種と推定されています。

カワヅザクラの 特徴

落葉高木、樹形は広卵状で樹皮は紫褐色で光沢があり、若枝は褐色、無色。葉は開花後に展開する。成葉は倒卵状楕円形で、先は尾状鋭尖形、基部は円形、長さ12.5～15.0cm、巾6.0～6.8cmで厚い。縁は単鋸歯だが、重鋸歯が混じり、鋸歯の先は芒状、線はない。表面は濃緑色、裏面は淡緑色、両面共に無毛。側脈は約10本。葉柄は長さ2.0～2.2cmで無毛、上部に1対の蜜腺がある。たく葉は長く、分岐多い。果実は、ほぼ球形、径0.9～1.3cm、黒紫色に熟し、甘みがある。

(日本のサクラの種・品種マニュアル(財)日本花の会より)

区分	内容
花色	蕾は濃紅色、満開時淡紅色
花序	散房状で散形が混る3～4花
花柄	18mm
小花柄	20mm
花径	33mm
花弁	5枚、円形、無毛、基部突出形、凹頭
花弁長	14～15mm
花弁巾	15～16mm
花形	平開形、一重、やや下向き
花柱	1本、無毛
雄蕊	40～45本
がく筒	長鐘形、無毛
がく片	長さ8mm、巾4mm、皮針形、無毛



カワヅザクラの 交流と振興

河津町の町の木である河津桜を守り、広めていくために、様々な取り組みがされています。町内においては、2013年(平成25年)に「河津桜守人マスタープラン」を策定しています。また、河津桜による交流を深めるために、全国各所に河津桜の寄贈がされています。各所に植えられた河津桜の淡紅色の花は、見る人の心を癒していくことでしょう。

河津桜寄贈リスト

平成25年末現在

場所	寄贈年
東京都 渋谷区	平成14年
千葉県 鋸南町	平成14年
東京都 渋谷区 代々木公園	平成15年
大阪府 箕面市	平成15年
千葉県 成田市	平成16年
神奈川県 平塚駅	平成19年
神奈川県 金沢動物園	平成24年
神奈川県 海老名市	平成25年

※この他民間交流で、岩手県山田町など、多方面に植栽されています。



平成24年 金沢動物園



カワヅザクラの育て方



日光が良く当たる場所で排水の良い、土の深いところに12月～2月までの花の付く前に植え付けます。植え穴は深さ40cm、幅60cm四方の穴を掘り、根を四方に広げて土をかけて、支柱を3方に立て、たっぷりと水を与えます。

肥料は芽吹き始めた3月下旬に表面に施肥し、5月上旬、6月下旬にも施肥します。翌年からは肥料の量を増やして同様に施します。カワヅザクラは木が大きくなるにつれて枝が垂れ易いので、斜め上方に誘引すると樹形が整います。

病害虫の防除は6月～8月にかけて、葉を食害する毛虫類に対し殺虫剤の散布や、5月～9月にかけて、葉に病気が発生する場合には、殺菌剤の散布をしたりします。また樹勢が弱まると、害虫が地際の幹に入り枯れてくることがあります。

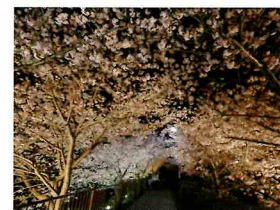


河津桜まつり

1975年(昭和50年)頃、河津桜を多くの人に見てもらおうと、観光協会が中心となり、河津川河口付近や、伊豆急行河津駅付近に約200本の植栽を行いました。そのサクラが成長し、満開の花を咲かせるようになった1991年(平成3年)2月「第1回 河津桜まつり」が開催されました。

その後、ボンネットバスを利用したお花見バスなども運行し、誘客に官民挙げて取り組みました。その努力が実り、1999年(平成11年)には来訪客が100万人を超えるイベントになりました。

来訪客は第21回まで100万人を超え続け、その後東日本大震災の影響等により減少しましたが、「河津桜まつり」は全国各地からお客様が訪れる、早春の伊豆を代表するイベントに成長しました。



河津桜の みどころ

河津桜は、河津川兩岸の堤防沿いに約800本の他、伊豆急行線の土堤や国道135号沿いなどで桜並木を楽しむことができます。また国道414号の河津七滝ループ橋下にも桜林があります。一般民家の庭木や農地など町全域に広がり、全体で約8,000本が植え込まれています。



※河津桜ライトアップは、まつり期間に行われます。



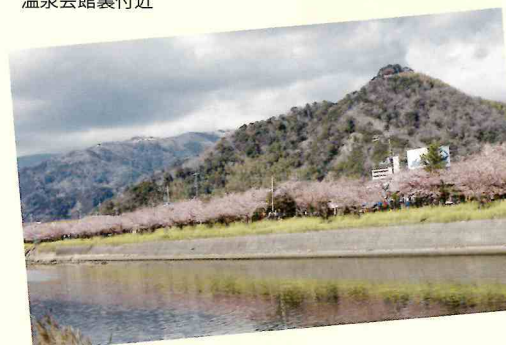
豊泉橋付近



温泉会館裏付近



かわづいでゆ橋付近

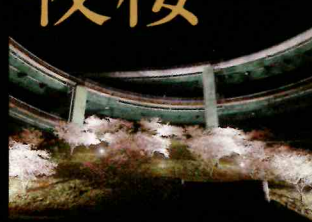


河津川河口付近



館橋付近

夜桜ライトアップみどころスポット



河津七滝ループ橋



温泉会館裏付近



館橋付近

